

ブックメーカーライブベット 教科書 (下)

～ テニスのライブベット方法 その2 ～

(オリジナルマーチンを使う)



本書は過去のデータに基づき、ブックメーカーを投資として考え、いくつかの戦略を公開したものです。将来の利益を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

ブックメーカー投資で被ったいかなる損害も、著者はその責を負いません。
商品の性質上、いかなる理由があろうとも、返品・返金・交換等には応じられません。

本書は著作権上の保護を受けています。本書のいかなる部分も、著者の許諾を得ずに、電子的・機械的に複写・複製することは禁じられています。また本書のいかなる部分も、購入者以外の第三者に公開・転用・流用・転載・転売・交換することを禁じます。著作権等の違反が判明した場合は、法律に基づき損害賠償を請求します。

< Chapter_1 > ブックメーカーとテニスについての知識

○ ブックメーカーとはなにか

ブックメーカーは掛け率を提示して客の投票を募り、賭けの結果により勝者に配当をする賭け屋です。1960年にはイギリス政府公認とされました。競馬から始まったものですが、今では様々なスポーツにまで賭けの対象は広がっています。

○ ブックメーカーに投資する

大前提として、「ブックメーカーのデータは膨大で、なおかつ正確なもので、信用に値するものである。」このことを忘れないでください。なお、本レポートはテニスに関するレポートです。その他のスポーツのことは一切考慮に入れていません。また、数あるブックメーカーの中でも「BET365」でのテスト結果しか記載していません。「BET365」を選択する理由は、ライブベットが最も充実しているからです。

○ テニスについての基本

テニスはポイントの取り合いのゲームですが、馴染みのない方は、詳しくは wowow のページ

http://www.wowow.co.jp/sports/tennis/guide_rules.html

の「ルール解説」と「用語集」などを読んで、基本的な理解はしておいて下さい。

なおテニスについては色々なサイトがありますから勉強には事欠かないと思います。ネットで検索してみてください。

< Chapter_2 > ブックメーカー投資の準備

まず Neteller と BET365 の登録をして下さい。これがないと始まりません。

○ Neteller に口座を開く

Neteller(ネッテラー)とはイギリスのオンライン決済サービスです。ここにお金を預けておき BET365 等のブックメーカーに入出金します。日本語にも対応していますので便利です。詳細については、下記のサイトなどを参考にして下さい。

「ブックメーカー情報局」

<http://bookmaker-info.com/>

の中の

<http://bookmaker-info.com/neteller-regist>

のページなどを参考にして下さい。

○ BET365 に登録する

BET365 の創業は 1974 年。世界約 200 ヶ国に計 900 万人以上のプレイヤーを抱える初心者でも使いやすい超優良ブックメーカーです。「BET365」を選択する理由は、最もライブベットが充実しているからです。登録の仕方は

「ブックメーカー情報局」

<http://bookmaker-info.com/>

の中の

<http://bookmaker-info.com/bet365-regist>

のページなどを参考にして下さい。

登録については、一応分かりやすいところを紹介しましたが、ネットで検索して頂くとたくさん紹介しているサイトがあります。

※Neteller と BET365 の取引通貨は同じにしておかないと、資金移動の度に手数料がかかることになります。わたしは、Neteller も BET365 もドル建てにしていますが、両方とも円建ての人もいるようです。どちらの手数料が安いかは利用の仕方によって違うようです。このあたりは詳しくないので、ネットでお調べ下さい。また今後の為替相場の影響も絡んでくるので、どちらが得とは一概に言えません。

本書では私が使用しているドル建てで話を進めます。

また、BET365 は日本語が使いません。

BET = ベット = 賭ける

SET = セット

Match = 試合

としてお考え下さい。

「ライブベット教科書」の基礎編を読んでいた方には、この応用編がマーチンゲールの考え方を私なりにテニスのベット用に作り替えた戦略であることは申し上げました。

しかし、いきなり、この応用編をお読みになる方もいらっしゃると思いますので、基礎編と一部内容が重複することがあることをご了承下さい。

また本書は上級者編ですので、読まれる方はそれなりのテニスの知識とベットの経験があることを前提に話を進めさせていただきます。Neteller 及び BET365 の開設の仕方などについては、わたしも 1 度しか経験がないので、ご自分で色々なサイトを参考にして下さい。このことに関するご質問には一切お答えできません。ご了承下さい。

なお基礎編でのベットの仕方を「シンプルベット」とし、応用編でのベットの仕方を「マーチンベット」とします。



< Chapter_3 > マーチンゲールを考える

>>> マーチンゲール法

マーチンゲール法とは、ルーレットの赤か黒かのように、オッズが2倍以上のものにベットを増やしながら賭け続ける方法です。2倍の配当の場合の表を下記に示しました。

連敗数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
投資額	1	2	4	8	16	32	64	128	256	512
投資合計額	1	3	7	15	31	63	127	255	511	1023
確率	50.0 %	25.0 %	12.5%	6.25%	3.13%	1.56%	0.78%	0.39%	0.20%	0.10%
損益	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

初回に1ドルベットし、負けたら2回目に2ドル、また負けたら3回目に4ドル。このようにオッズが2倍であれば、どこかで勝てば1ドルの利益が出る。10回続けて負ける確率は0.1%。基本的にはディフェンスを考えた戦略です。

それにしても、1ドルで始めて10回目には512ドルのベットです。ちなみにルーレットでは1913年にモンテカルロで27連続『黒』が出たのが、連続の世界記録です。マーチンゲールを無限に続けていけば、破産です。マーチンゲールの肝心なところは、何回マーチンすれば止めるか、これを決めて守ることです。

>>> ココモ法

こうした賭け方はマーチンゲール以外にも色々ありますが、有名なのは3倍以上の配当があるときに用いるココモ法でしょう。3倍のオッズの場合の表を下記に示しました。

連敗数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
投資額	1	1	2	3	5	8	13	21	34	55
投資合計額	1	2	4	7	12	20	33	54	88	143
損益	2	1	2	2	3	4	6	9	14	22

これは最初に1ドル、次にまた1ドル、その次は直前に賭けた数字と、その前に賭けた数字を合計した数字を賭けます。1+1で2ドルです。その次は1+2=3ドルになります。この賭け方の特徴は連敗するに従い利益も大きくなることです。しかし、オッズが3倍ということは連敗する可能性も高くなります。

本書では、マーチンゲール法やココモ法などの賭け方を総称して「マーチン」又は「マーチンベット」と呼ばせていただきます。ベットに負けたら金額を増やしながらか賭け続けていく方法です。

では、テニスのライブベットにおいて、「マーチン」を使う方法はないのでしょうか。マーチンを使うには2倍前後のオッズが必要です。2倍前後のオッズでマーチンが出来れば、利益を生み出せる可能性は十分にあります。ただ、テニスの試合はオッズが一定ではありませんので、それなりの工夫が必要です。

わたしの考えたマーチンゲールの方法については、最低でも1.5倍前後の配当がつくことが条件になります。

今回も基礎編と同様にテニスのライブベットを対象にします。理由は基礎編で説明しました。基礎編のようにオッズが低い場合にはマーチンは使えません。ベットする金額があつという間に増えていくからです。

それでは、どの試合にどのようにベットするのか。これを考えました。

< Chapter_4 > 男女別の試合の特徴について

>>>サービス力について

まず、四大大会における男女のファーストサーブの平均速度を調べました。

男子のファーストサーブ 184.1km/h

男子のセカンドサーブ 150.4km/h

女子のファーストサーブ 158.5km/h

女子のセカンドサーブ 133.4km/h

さらに、総ポイント数をサービスエース数とダブルフォルト数でそれぞれ割った数値を調べました。値が1に近づくほど、その確率が高いということです。2013年のデータですが、男子のサービスエース率はどこの大会でも女子に比べて高いものになっています。

全豪オープン

	サービスエース	ダブルフォルト
男子	12	32
女子	28	19

全仏オープン

	サービスエース	ダブルフォルト
男子	17	34
女子	36	24

全米オープン

	サービスエース	ダブルフォルト
男子	13	24
女子	27	19

ウィンブルドン

	サービスエース	ダブルフォルト
男子	10	31
女子	23	23

以上のことから、男子の試合はサービス側がとても有利であり、レシーブ側のオッズが女子よりも高くなるわけです。これは、女子の場合は必ずしもサービス側が有利であるとは限らないということをも示しています。

ここで例外があります。ウィンブルドンです。女子のサービスエースとダブルフォルトが同じくらいの確率になっています。これはウィンブルドンは芝のコートであり、サーブの速度が落ちにくいので、女子でもサービスエースが多いということを数字で証明しています。

>>>ブレイクゲームについて

今回は2013年の四大大会におけるBREAK GAMEの発生数を調べました。全てのゲーム数をBREAK GAME数で割ったものです。(サービス側がゲームに勝つことをホールド(HOLD)と言い、レシーブ側がゲームに勝つことをブレイク(BREAK)と言います。)

男子は約4.5ゲームに1度、女子は約2.7ゲームに1度、BREAK GAMEが発生しています。ここでも、ウィンブルドンでのサービスブレイク率は少し低くなっています。芝のコートではサービス側が少し有利になることが数字で表れています。

全豪オープン

	ブレイクゲーム
男子	4.4
女子	2.6

全仏オープン

	ブレイクゲーム
男子	4.4
女子	2.6

全米オープン

	ブレイクゲーム
男子	4.5
女子	2.8

ウィンブルドン

	ブレイクゲーム
男子	6
女子	3.2

(補足)

○主なコートの種類について

<ハードコート>

セメントやアスファルトの上に化学樹脂をコーティングしたコートです。

全豪オープン 全米オープン

<クレイコート>

土でできたコートです。

全仏オープン

<グラスコート>

芝でできたコートです。

全英オープン(ウィンブルドン)

<カーペットコート>

人工芝やカーペット・木材などを敷いたコート。屋内で使用されます。硬式テニスではカーペットを敷くことが多いようです。

上記のコートを球足の速い順番に並べると

グラスコート>ハードコート>クレイコートとなります。

カーペットコートは敷く素材によって球足が変化しますので割愛しましたが、板張りにすると、芝よりも球足が速くなると言われています。

現在、新しくなっているコートについてはハードコートが一番多いようです。メンテナンスが楽なことがメリットとなっているのでしょう。

話は逸れますが、クレイコートを苦手とする選手はたくさんいました。

ジミー・コナーズ、ボリス・ベッカー、ビート・サンブラス・・。彼らは全仏オープンでは優勝していません。いずれもサービス&ボレーを得意にする選手です。逆に現在活躍中のラファエル・ナダルは全仏オープンを連覇しました。選手もその特徴によって得意とするコートとそうでないコートがあるわけです。



< chapter_5 > 試合を探す

これらの統計を受けて、BET365 でマーチンが出来そうなオッズとその発生率を検討しました。

1.女子の試合では、ゲームにおいてレシーブ側のオッズは1.5～3.5 前後を推移します。
男子は2.0～8.0 前後で幅がありますが女子と比べると大きいオッズに偏ります。

2.女子の試合ではDEUCE(デュース)のオッズは通常2.75～3.25 です。
男子は3.00～4.75 あたりでたいへん幅があります。